

旭川医科大学病院

薬剤部概要

■ 理念

時代変化を捉え、患者薬物療法に貢献できるより高度な薬剤業務をチーム力で展開・発信する。

■ 薬剤部の業務 ※組織図、統計はホームページ参照

<調剤室>

処方オーダーリングシステム、薬品管理システム、錠剤自動分包機、散剤自動分包機、散剤監査システム、自動調剤棚を導入。

処方せんと共に薬歴・臨床検査等が記載された「処方せんチェックシート」を用いて、調剤業務時にも個々の患者情報に合わせた調剤・監査を実施。

院外処方せんには臨床検査値を格納したQRコードを導入。

<注射薬払出部門>

注射剤や消毒薬等の処置薬の払出しが主な業務。

病棟および外来点滴センターへの定期注射剤払出しは、患者毎の個人別セットを実施。

<注射薬混合調製センター>

調製前の処方監査、高カロリー輸液・抗がん剤の無菌調製を実施。

安全キャビネット2台(調剤監査システムあり)とクリーンベンチ3台を配置。

定時入力された入院注射オーダーのうち混合可能な200mL以上の輸液を含む薬剤、

全ての抗がん剤(原則)が対象。休日・夜間を含め24時間体制で抗がん剤調製に対応。

<外来化学療法センター>

外来患者のがん化学療法、生物学的製剤の投与を実施。

ベッド9床とリクライニングチェア11床を設置。

抗がん剤レジメンチェック、注射剤全般の無菌調製、患者面談を実施。